

令和2年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

おいでよキビのもり！～もりでいっしょにあそぼう！～

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

新型コロナウイルスの影響で外遊びの機会が減少している子供たちに自然体験の機会を提供する。

2. 事業の概要

(1) 期日・対象

- ① 岡山県内の幼児（未就学の4～6歳児）・小学校低学年とその家族
4回：各3家族（15人程度）
令和2年5月24日（日）、令和2年6月6日（土）
令和2年6月13日（土）、令和2年6月27日（土）
- ② 岡山県内の小学校中学年とその家族
3回：各3家族（15人程度）
令和2年5月30日（土）、令和2年6月14日（日）
令和2年6月20日（土）

(2) 参加者

- ① 岡山県内の幼児（未就学の4～6歳児）・小学校低学年とその家族
令和2年5月24日（日）3家族10人
令和2年6月6日（土）4家族13人
令和2年6月13日（土）5家族14人
令和2年6月27日（土）4家族10人
- ② 岡山県内の小学校中学年とその家族
令和2年5月30日（土）4家族16人
令和2年6月14日（日）3家族8人
令和2年6月20日（土）4家族12人

(3) 企画・運営のポイント

- ① 新型コロナウイルス感染予防のために、参加者に来所前の検温、マスクの着用、アルコール消毒の徹底を促した。
- ② 三密を避けるために、屋外で活動を実施した。また、雨天時は広いスペースを利用した活動に取り組んだ。
- ③ 参加者の年齢を考慮し、余裕を持った時間設定を行った。
- ④ 説明をするときには、手遊びや音楽を取り入れたアイスブレイクを行うなど、楽しい雰囲気を作れるように心掛けた。
- ⑤ 新聞社やテレビ局などにプレスリリースを送り、当所での事業を広く知ってもらえるように広報した。

3. 活動の内容等

(1) 日程

内容	
9:30	受付
10:00	開会式 アイスブレイク
10:10	森であそぼう！(雨天時：自然とあそぼう！)
12:00	昼食 (持参弁当)
13:00	ネイチャー大冒険！ (雨天時：館内レクリエーション)
15:00	閉会式 解散

(2) 活動の状況



【晴天時：アイスブレイク】



【雨天時：アイスブレイク】



【晴天時：森であそぼう！①】



【晴天時：森であそぼう！②】



【晴天時：森であそぼう！③】



【雨天時：自然とあそぼう！】



【晴天時：ネイチャー大冒険！①】



【晴天時：ネイチャー大冒険！②】



【雨天時：館内レクリエーション①】



【雨天時：館内レクリエーション②】

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、野外活動の機会が減少している子どもたち。自然の中で遊んでもらおうと、国立吉備青少年自然の家（吉備中央町）は24日、敷地内の野山を散策するイベントを開催した。

国立吉備青少年自然の家は、5月14日まで利用者の受け入れを休止していた。県が緊急事態宣言の対策外となつたことを受け、5月中は屋外のみ利用できる。イベントは感染予防のため参加者を制限しており、この日は4〜8歳の子どもとその家族計11人が参加した。参加者は地図をたよりに

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、野外活動の機会が減少している子どもたち。自然の中で遊んでもらおうと、国立吉備青少年自然の家（吉備中央町）は24日、敷地内の野山を散策するイベントを開催した。

国立吉備青少年自然の家は、5月14日まで利用者の受け入れを休止していた。県が緊急事態宣言の対策外となつたことを受け、5月中は屋外のみ利用できる。イベントは感染予防のため参加者を制限しており、この日は4〜8歳の子どもとその家族計11人が参加した。参加者は地図をたよりに

久々の外遊び満喫

吉備青少年自然の家 親子体験イベント

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、野外活動の機会が減少している子どもたち。自然の中で遊んでもらおうと、国立吉備青少年自然の家（吉備中央町）は24日、敷地内の野山を散策するイベントを開催した。

国立吉備青少年自然の家は、5月14日まで利用者の受け入れを休止していた。県が緊急事態宣言の対策外となつたことを受け、5月中は屋外のみ利用できる。イベントは感染予防のため参加者を制限しており、この日は4〜8歳の子どもとその家族計11人が参加した。参加者は地図をたよりに

丸太の上をバランスを取りながら進む親子

【山陽新聞掲載記事(5月25日掲載)】

野山散策外遊び満喫

国立吉備青少年自然の家

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、野外活動の機会が減少している子どもたち。自然の中で遊んでもらおうと、国立吉備青少年自然の家（吉備中央町）は24日、敷地内の野山を散策するイベントを開催した。

国立吉備青少年自然の家は、5月14日まで利用者の受け入れを休止していた。県が緊急事態宣言の対策外となつたことを受け、5月中は屋外のみ利用できる。イベントは感染予防のため参加者を制限しており、この日は4〜8歳の子どもとその家族計11人が参加した。参加者は地図をたよりに

散策を楽しむ家族連れ

国立吉備青少年自然の家

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、野外活動の機会が減少している子どもたち。自然の中で遊んでもらおうと、国立吉備青少年自然の家（吉備中央町）は24日、敷地内の野山を散策するイベントを開催した。

国立吉備青少年自然の家は、5月14日まで利用者の受け入れを休止していた。県が緊急事態宣言の対策外となつたことを受け、5月中は屋外のみ利用できる。イベントは感染予防のため参加者を制限しており、この日は4〜8歳の子どもとその家族計11人が参加した。参加者は地図をたよりに

06・56・72332

【読売新聞掲載記事(5月25日掲載)】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：92% やや満足：8%

(2) 参加者の声

- ① 自然の親しみ方を身に付ける良い事業でした。
- ② とても楽しい一日でした。
- ③ 子供たちのやる気や学びを引き出してくれる助言がたくさんありました。
- ④ 久しぶりに外で遊べた。家にいるよりも楽しかった。(新聞記事より)
- ⑤ ゴールデンウィークはあまり外で遊べなかったから、疲れたけど楽しかった。(新聞記事より)

(3) 成果

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を考えて、家族ごとでの活動の徹底やソーシャルディスタンスを保つこと、アルコールでの手指消毒などを実施し、安全に活動することができた。
- ② 新聞社やテレビ局の取材を受けたことにより、今まで当所を知らなかったという家族も多く来ていただくことができた。
- ③ 今回の当事業に参加してくださった家族が、日帰りの利用や他の事業へ参加など、事業後の反響も多かった。

(4) 今後の課題

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、他家族との交流を控えるような活動を主に行ったが、今後、感染防止対策を考慮しながらの他家族との交流ができるような企画や指導を検討していきたい。
- ② 新聞掲載による影響は大きく、初めて当所を利用してくださった家族が多くおられた。今後、プレスリリース等の利用の仕方を模索し、新しく当所を知ってくださった家族を宿泊利用等へつなげていきたい。

担当：企画指導専門職付 貞方 貴衣